

★ 作家プロフィール

はせがわいさお (コミュニケーションアート画家)



1956年、福島県会津若松市生まれ。4歳から埼玉県さいたま市（旧大宮市）在住。日本大学芸術学部美術学科（現デザイン学科）卒業後、フリーイラストレーターとして広告、出版界で活躍すると同時に画家としてデビュー。1987年に、作品の主人公であるスターリイマンを、娘・祐希の3歳の誕生日プレゼントとして初めて描き、その後、お話を創作する妻と共にシリーズで創作し続けている。

1997年、阪神淡路大震災のチャリティー絵画展への参加を機に、版画家として全国展開を行った後、2007年に独立。絵とお話と朗読で観る人の心と心をつなぐコミュニケーションアートを確立。世界中が家族のような温かなきず

なでつながることを願い、子どもから大人まで幅広い世代を対象にしたイベント、展覧会、朗読コンサートなどを日本全国で展開している。

画家としての創作の傍ら、2011年の東日本大震災後に、「スターリイマン紙芝居プロジェクト」を沖縄の方々と共に立ち上げ、岩手・宮城・福島・茨城の子ども達のいる保育園・幼稚園・小学校を中心に、仮設住宅、老人介護施設、社会福祉施設、図書館、公民館などで紙芝居ライブを行い、紙芝居を贈る活動を行う。

また2011年の10月からは、紙芝居の活動で訪れた各地の復興を祈り描いた「被災地の未来を輝かす心の原風景」や縁ある地域の心の原風景を語り伝えながら、ふるさとを愛し誇りに想う心をつなぐ活動を精力的に行う。2017年11月5日に、スターリイマンはを描き始めて30年を迎えた。

【代表作】

- ★「風の旅人」（伊・グレゴリア大学名誉作家認定）
- ★「第13回 NHKハート展」の作画者
- ★「日本の四季の輝き～春夏秋冬～」200号キャンバス4作品
- ★「被災地の未来を輝かす心の原風景」9作品
- ★武蔵一宮氷川神社 作品ご奉納（新祈祷殿展示）
- ★常陸之国一之宮鹿島神宮 作品ご奉納（新祈祷殿展示）
- ★日本郵船氷川丸 竣工85年記念 作品寄贈（氷川丸船内展示）

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 個人会員
千代田ユネスコ協会 理事
東京都ユネスコ連盟 評議員



「公益社団法人日本ユネスコ協会連合」を通して、アフガニスタンの寺子屋の子どもたちに作品を寄贈いたしました。

はせがわ芳見 (作家／一般社団法人スターリイマンからの贈りもの 代表理事)



茨城県常総市出身。女子栄養短期大学卒業後、同大学教務課勤務時に、はせがわいさおと出会い、結婚。みんなの心と心をあたたかくつなぐコミュニケーションアートとして、画家・はせがわいさおが描く絵のすべてのタイトルとお話を創作。

2017年11月5日に、スターリイマンが生誕30周年を迎え、一般社団法人スターリイマンからの贈りものに代表理事に就任。

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 個人会員
千代田ユネスコ協会／東京都ユネスコ連盟 理事

【代表作】

- ★「Starryman スターリイマン作品集愛と夢の30年の軌跡」(スターリイマン30周年記念作品集)
- ★東日本大震災活動記録本「Negai 旅するスターリイマン」
- ★スターリイマン紙芝居「夢を叶える9つの風船のおくりもの」(東洋企画)
- ★「はせがわいさおコミュニケーションアート作品集～夢～」(角川学芸出版)
* 日本図書館協会選定図書 中学生の部に選出
- ★「いつも君のそばにいるよ」(学研パブリッシング)
- ★スターリイマンのテーマ曲「きらきら生きる愛の地球」作詞・作曲
- ★スターリイマンの愛のメッセージ「Starryman's Love」作詞